

【巡回指導〈4〉】会津若松市立 若松第六中学校

日程：2018年8月25日(土)

参加者：若松第六中学校(12名) / 薄先生、横田先生

指導者：斎藤真由美(元パイオニアレッドウィングス)、岡野弘子(元岡山シーガルズ)

同行者：事務局/釜口実行委員長、小色尚子 会員/(株)カナメ 1名



4回目のラスト巡回指導は斎藤真由美コーチと岡野弘子コーチの2人で行いました。体育館に入ると笑顔と拍手で大歓迎してくれました。最初にコミュニケーションワークから始めました。自分の「夢」「得意なこと・好きなこと」そして「自分との小さな約束」を書いて一人一人に発表してもらいました。毎日積み重ねた小さな約束が、本当に大切な時に「自分の力」となって自分を支えてくれます。自分の夢に向かって頑張りたいと真由美コーチから話がありました。夢を語るみんなの姿がとても輝いていました。



回転レシーブをしたことがないということで、岡野コーチがお手本を見せてくれました。みんなも実践してみますが四苦八苦。岡野コーチが分かりやすく解説し、何度も練習しました。アンダーパス、オーバーパス、サーブ、スパイクでは、正しいフォームをチェックしながら「1本1本に気持ちを込めて打つこと」など、丁寧に説明しながら指導をしました。また、ヘルスパレーボールという大きな柔らかい楕円形で予測不可能な方向に行くボールを使って、取る人の声、任す人の声の大切さを伝えながら、つなぐ練習をしました。この後、通常のバレーボールを使って行うと不思議なことにボールがよく繋がります。楽しみながら繋ぐことの大切さを伝えました。また、会員の安藤さんがシャインマスカットを差し入れに来てくれました。美味しいブドウにみんなの笑顔が弾けます。



ラスト式では生徒のみなさんと先生から1年間で学んだことや感謝の言葉をいただきました。また、巡回指導に来てくれた指導員の一人一人にメッセージアルバムを作ってプレゼントしてくれました。そして、卒業した「センパイ」も駆けつけて挨拶に来てくれました。自分の意見を伝える力、相手を尊重する姿勢、感謝する心、そして、表情豊かにたくさんの顔を見せてくれた若松6中のみんな。指導に行った誰もが心を掴まれました。あなた方の誰もがかけがえのない存在であり、自分にしかない役割があるということをこれからも豊かに表現して欲しいと願います。またいつか会える日を楽しみにしています。1年間ありがとうございました。